

A scenic view of a rural Japanese village. In the foreground, there are lush green rice fields. In the middle ground, several traditional Japanese houses with tiled roofs are scattered across a gentle slope. The background shows more greenery and a clear blue sky with scattered white clouds. Power lines are visible on the right side of the image.

令和5年度農村RMO推進フォーラム

『吉 縁起村』が農村RMO事業
参画に至るまでの経緯と現状

吉 縁起村協議会



本日のご紹介内容

- ◆活動団体の所在地と活動以前の状況
- ◆「まずは、やってみよう！」（地域おこし隊 吉縁起村）
- ◆（転機1）岡山県美作国創生公募提案事業に採択
- ◆（転機2）中山間直接支払い岩坪・林協定に参画
- ◆（転機3）農水省「農村型地域運営組織」（農村RMO）に採択
- ◆（未来に向けて）農村未来型無人店舗「スマート・縁起村」
- ◆成果と課題



◆活動団体の所在地と活動以前の状況



■地域活動の主体団体 「吉縁起村」 実行委員20名 平均年齢64才

■所在地 岡山県真庭市吉（真庭市最南端）県南から一般道経由の入口

岡山県 美作地域

真庭市 吉地区
(9自治会)

5自治会で活動
(45世帯100名)



活動前の吉地区の状況 (2019年1月活動以前)

1. 中山間にある過疎地区 ～ 高齢者率 60%超



◎H26小学校廃校、H27津田郵便局廃止

→地域に活気が消えた →高齢化で自治会活動も停滞…

◎バス路線の廃止 →買い物・通院にも支障が…

そこで、「何かできないか？」をテーマに会合

◆多様な職種の有志15人が集会所に集合

自治会枠を超えた話し合い

→ 「地域おこし」に役立つものは？
起爆材探しへ



◆地域おこし隊 「吉縁起村」が始動

→ 一人5000円拠出(活動資金)

→ 「まずは、何かやってみよう」

1. 地域のお宝探し(地域資源発掘)



重要無形文化財念仏踊

めでたい地名が多い

2. 看板作りに着手！

知名度アップを
目指して





3. 仲間が増えテントで販売活動！ (吉地区を知ってもらう) (令和2年3月)



ところが、
開店場所が1km北にあり、
駐車場もなかった……



4. 空き家を活動拠点に



5. 新たな拠点の駐車場で売店活動を本格化 (令和2年9月)



6. 関西からご夫婦で吉に移住



7. 年末に岡山県の助成金募集を知る (これが大きな転機に！)

転機 1

◆令和3年度岡山県美作国創生公募提案事業に採択 ＜応募のコンセプト＞



地域おこし活動を通して住民福祉向上に貢献する

＜「幸福感」醸成＞

1. 短期目標の設定

◎ 「活動拠点」と「訪問スポット」の整備に取り組む

2. 中長期目標を設定

◎ 「特産品開発」により活動財源確保と知名度アップを

◎ 「吉を第3の観光地に」を合い言葉に地域資源を活用

◎ 「コミュニティー新聞」定期発行で丁寧な地域合意形成へ



短期目標の達成



「活動拠点」と「訪問スポット」の整備

駐車場・イベント広場



休憩処



美作大学生の参加

長袖護王宮参道



中長期目標



1) 特産品開発

「紅はるか」で「干し芋・焼き芋チップス」作り

課題：乾燥機の確保

→ 資金不足が悩み

2) 地域への広報が充実

「吉縁起村新聞」が定期発行

アンケート結果

92%が読んでいます

92%が記事内容も

よくわかる

地域元知 吉縁起村新聞 No.41 令和5年10月1日 発行「吉」縁起村 代表 藤原克夫

私たちはコロナ感染対策に留意して活動をしています

去る9月25日農水省長井農村振興局長「吉縁起村」を視察訪問!

7月に農水省農村振興局長に就任された長井俊彦氏が9月25日午前吉縁起村「立寄処」を訪ねられ、私たち吉地区の活動状況を把握して伺えられました。局長就任前から農村RMO事業の充実には農業振興ばかりでなく中山間地域の在り方や今後の住民生活支援が重要というお気持ちを持たれており、今回、吉縁起村の活動に興味を持たれ視察に。鈴木会長による縁起村活動の経緯や成果、今後の課題などを説明した後、RMO事業を進めていく上で課題となることは？等の質問があり、鈴木会長からは「何よりも地域を要する心を持った人が居て一緒に楽しく取り組んでいくこと、これが原点」といった言葉が局長に伝えられた。その後スマートストアが設置される場所や売店を見学、同行の役人から大変参考になったとの有り難い言葉を頂きました。

手前左から長井局長、本原課長補佐他の方々

なににな？ちよっと知つとこかな

1. 「立寄処」に行部さん、笑顔で帰省

9/24(日)縁起村売店に行部晴恵さんがお元気な姿で立ち寄ってくれました！

皆さん会話中は笑顔でうれ、楽しい一時を過ごしました。

2. 「縁起村」の特産品「翠王茶」新パッケージで!

吉という少子高齢化の村で利便性の高い店舗を運営し地域から愛され、ここで生活して良かったと実感して頂けるよう吉縁起村協議会では将来ビジョンに基づいて計画を推進してまいります。スマートストアは中学生の意見から実現したものです。お楽しみに...

スマートストアのイメージ

地元の人が時間を気にせず、楽に買い物！

写真左は売店左側部分。この柱延長線上を下の図のような店舗に改装します。改装工事は10月に入ります。すぐ取りかかり20日までに完成し、その後皆さんが容易に利用できる説明会を開催し、29日(日)9時に開店する予定です。

翠王茶

家主の岡田浩三さんからお店横の日本間をイートイン(食べたり話したり出来る場所)として使って下さい、と面白い申し出を頂きました。

翠王クッキー

秋祭りバージョン 餅子の図案やコスモスがきれい

転機 2



◆中山間直接支払い岩坪・林協定に参画（事務・特産品担当）



R3年岩坪協定・林協定が統一

広域化に貢献

※事務費で活動資金が増加へ



令和3年度総会

鳥獣害対策研修会



これで「農用地保全」・「地域資源の活用」・「生活支援」が整う
→ 岡山県・真庭市から「農村RMO」の話を受け

さらなる飛躍へ



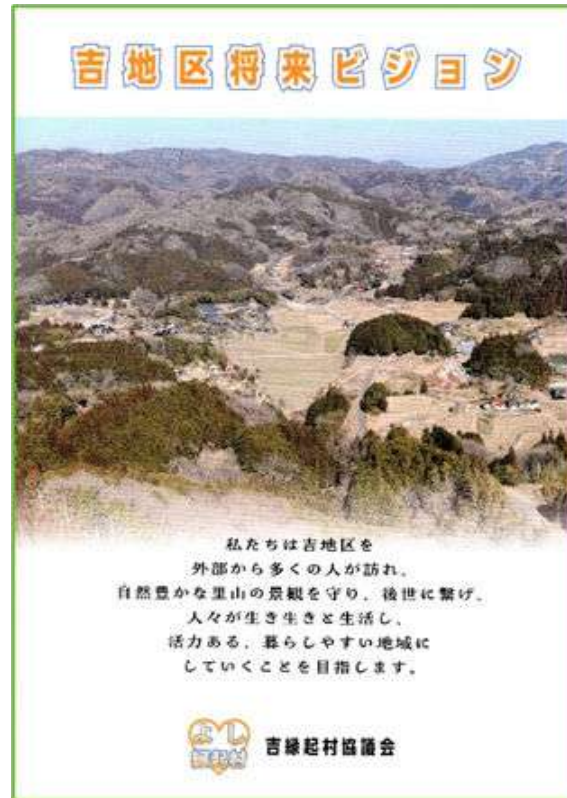
◆農水省「農村型地域運営組織」(RMO)に採択

岡山県と真庭市の指導助言を受けて充実 R4年度事業

住民ワークショップ



「吉地区将来ビジョン」



基盤整備着手

新規耕作地への進入路新設

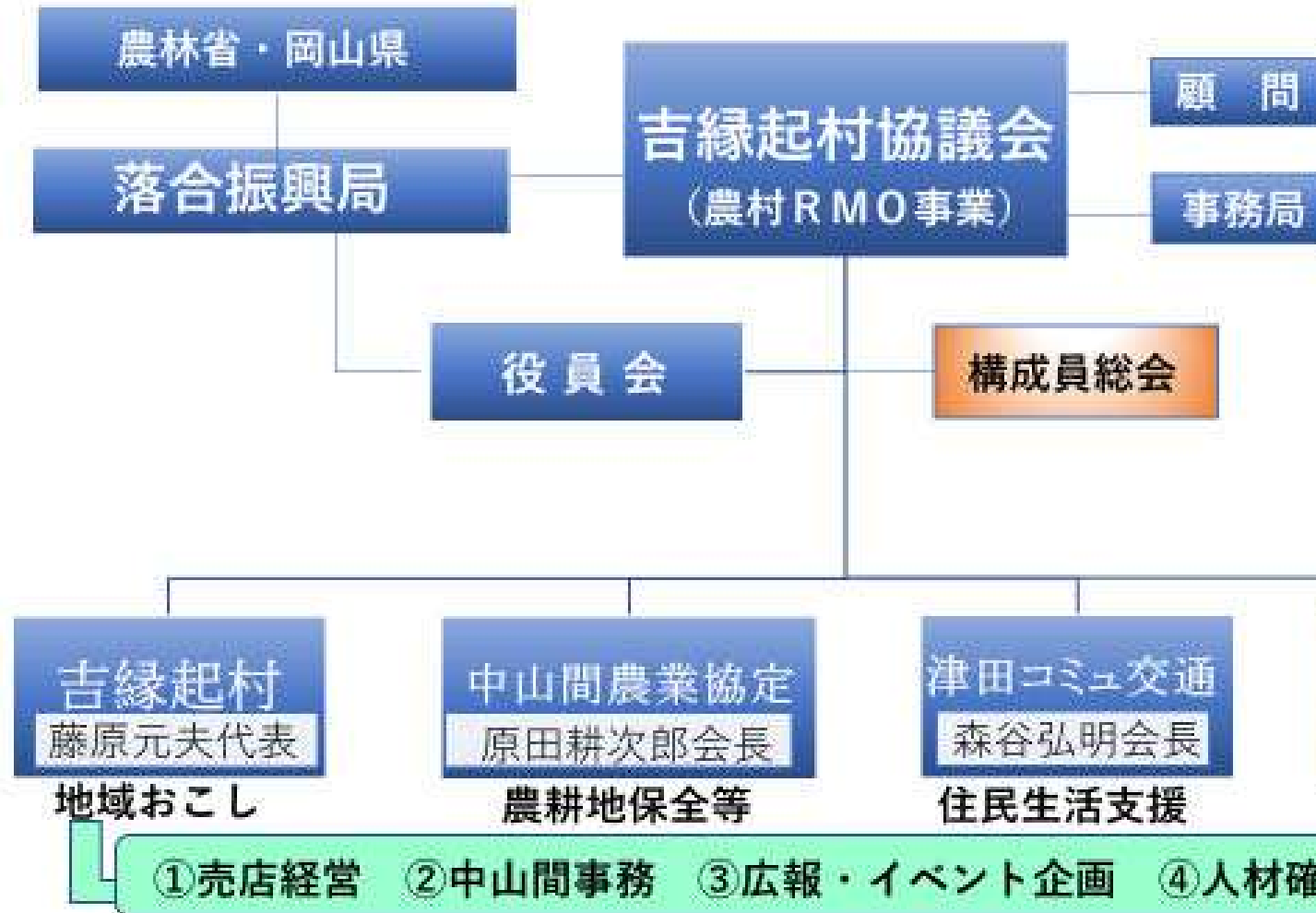


さつま芋「翠王」実験育成





吉縁起村協議会 組織図



<農村RMO事業とは？>

中山間農業協定を充実させ、拡大を図りながら地域の農用地を確保すると共に地域資源を有効に活用することで、地域の活性化と存続を図る農林省が推進する事業



吉縁起村

商標登録へ





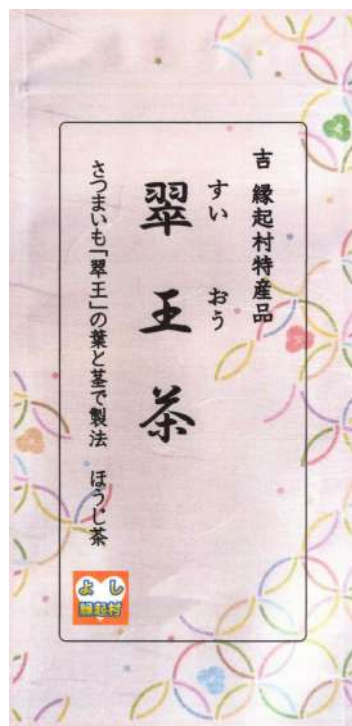
R5年度 農水省 「農村型地域運営組織」 (RMO)

リモコン草刈り機リース



人手不足・耕作放棄地
解消の一助に

特産品開発 (翠王茶・クッキー)



法人化に向けて

島根県邑南町へ視察研修



他市から研修に来村



(未来に向けて)



◆農村未来型無人店舗「スマート・縁起村」開設

事前説明会



開設準備風景



10/29(日)開設当日の風景



◆ 成 果



1. アンケート結果がより肯定的に変化
「縁起村への理解と支援の気持ちが定着」
「吉縁起村新聞で活動がよく知れてうれしい」
2. 地域女性の力が売り上げ拡大に大きく貢献した
3. 農村RMOが契機、4農地が「農振地」に参入、
中山間に3名加入、9耕作地が増加
9,087㎡の新規耕作地が増加……！
4. 中山間の農家と吉縁起村等の団体が親しくなった
5. 国土交通省の関連施策で「GIS」デジタルマップ作成
6. 農水省長井局長が来村され視察……私たちの誇り

◆課 題



1. 無人ストア「スマート縁起村」の販売実績向上を
月最低5万円の売り上げで維持がどうにか…
2. 次世代人材育成を3～5年で図る
中山間事業継続は大丈夫、RMO事業後継者…
3. 吉縁起村協議会の自立運営化（法人化）
助成金頼りでは長続きしない
4. 特産品開発をさらに進め販売実績向上を図る
「翠王茶」が新聞（経済面）で紹介された
5. 吉地域のマスタープランを作成する





「クリエイティブ (創造する心)」

を大切に……！

2023年(令和5年)11月3日 金曜日 地方経済 6

真庭市 吉縁起村協議会 サツマイモからほうじ茶

真庭市吉地区の各種団体でつくる吉縁起村協議会は、サツマイモの品種「翠王」の葉と茎で作るほうじ茶を開発した。爽やかな香りと甘い味わいで、新たな特産品として売り出す。



真庭市吉地区の新たな特産品「翠王茶」

翠王は葉も茎も食べられるように九州沖縄農業研究センター(熊本県)が2004年に開発し、食物繊維が豊富で栄養価に優れているとされる。協議会は昨年、苗を手に入れて地区内の畑(2㏍)で栽培・収穫。乾燥、焙煎の加工は茶生産が盛んな同市富原地区の製茶業者に依頼した。

区たちよりどころの交流拠点「立寄処」にある売店(日曜開店)とキャッシュレス型の無人店舗・スマートストア(年中無休)で取り扱っている。鈴木昌徳会長は「くせがなく飲みやすいので、ぜひ味わってほしい」と話す。

パッケージも手作りし、75㏍(432円)と100㏍(540円)を用意。商品名は「翠王茶」で、地

問い合わせは、販売元となる地域おこし隊吉縁起村の藤原元夫代表(090-1182-1734)。(小谷章浩)

HP情報

山陽新聞「地方経済」面

ご清聴ありがとうございました

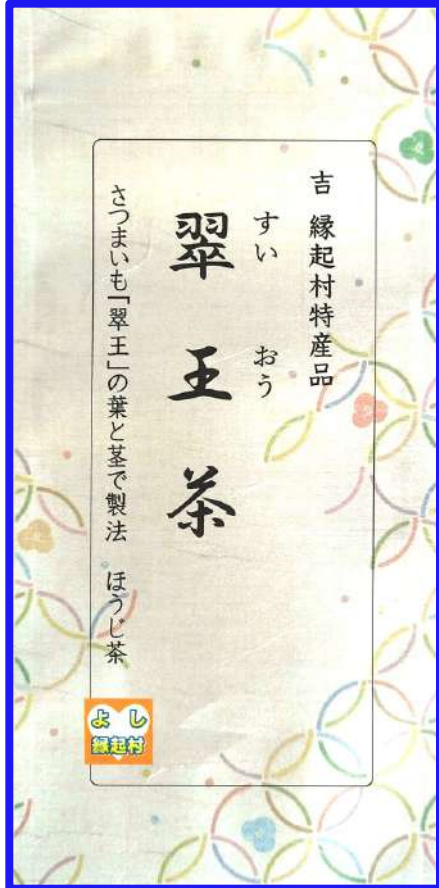
今後ともご指導ご鞭撻のほど
よろしくお願ひします

吉縁起村協議会



参考資料

ii 「縁起村」特産品の例



令和5年度 新開発！



真庭産檜の縁起札



「翠王」～さつまいもの1種 葉と茎を食べる



上 試験的に
育成した
翠王の葉
と

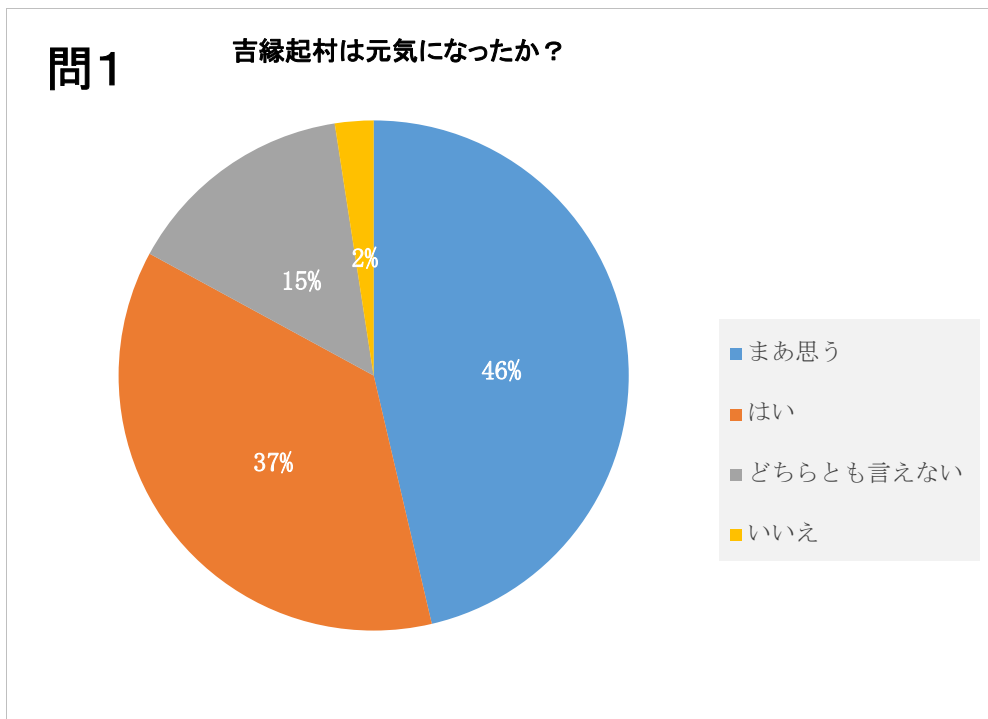
茎

中 紅はるか
収穫
乾燥作業

下 紅はるか
焼き芋
美味しい！

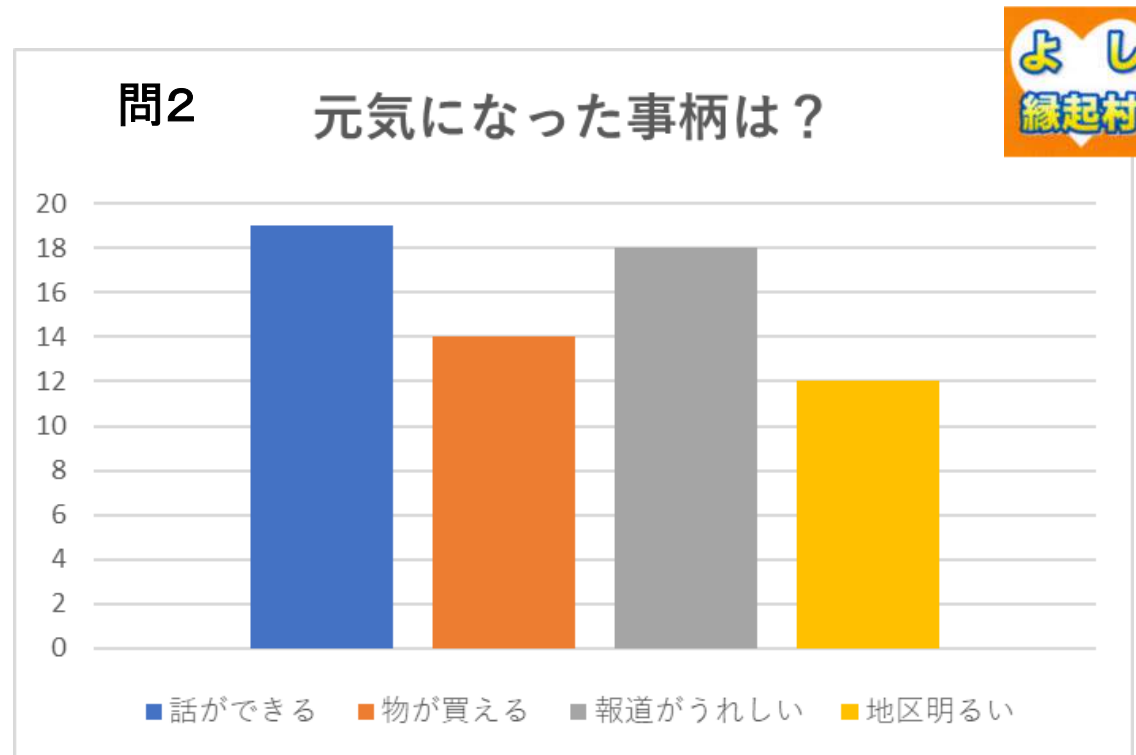


■ 農村RMO参画に向け第2回住民意識調査 (令和4年10月2日実施 43世帯)



吉住民の83%が肯定

「どちらとも言えない」 → ①高齢で外出しない
②たまに自宅に帰る



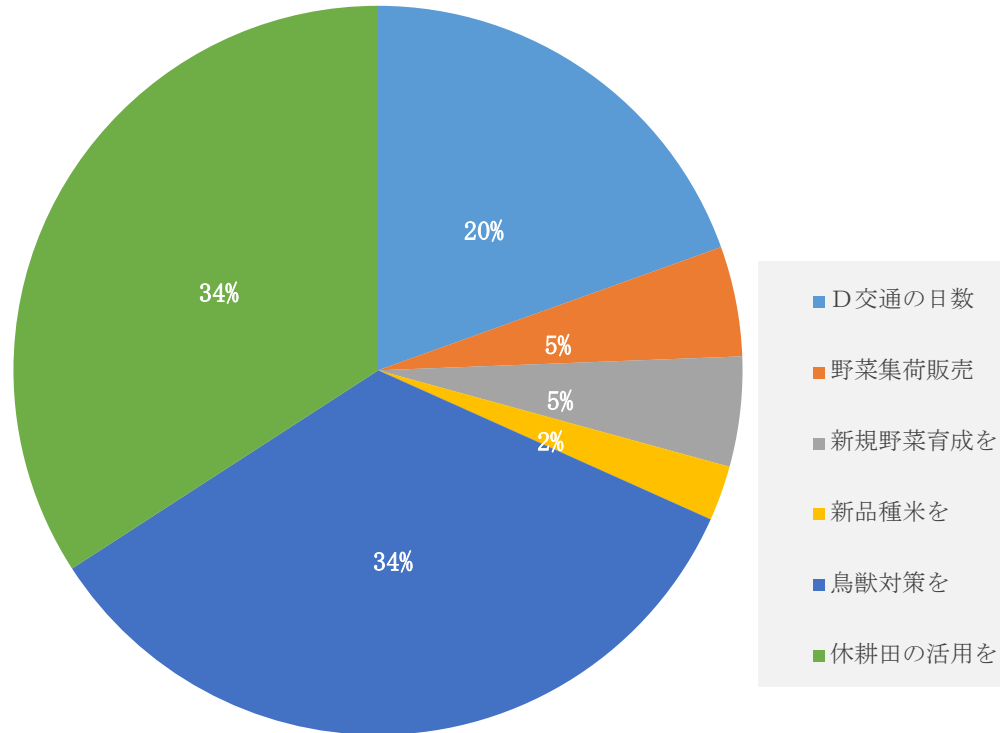
元気になったと感じる事柄～①立寄処で話ができる
②地元が広く報道される
その他、「立寄処」が拠点として機能しているので

令和4年度発足農村RMO事業(農水省)を県・真庭市から紹介



問6

農村RMOで取組んで欲しい事柄



■農村RMO事業

3つの事業目的

- ①農用地保全
- ②地域資源活用
- ③住民生活の支援

■農村RMOで取組んで欲しい住民の希望

- ①鳥獣被害対策に取り組んで欲しい
- ①休耕地の活用をして欲しい
- ③デマンド交通の充実(日数の増加)を
- ④野菜の集荷・販売を

■回答した項目の背景

「過疎化・高齢化」

■吉縁起村→「吉縁起村協議会」として課題解消

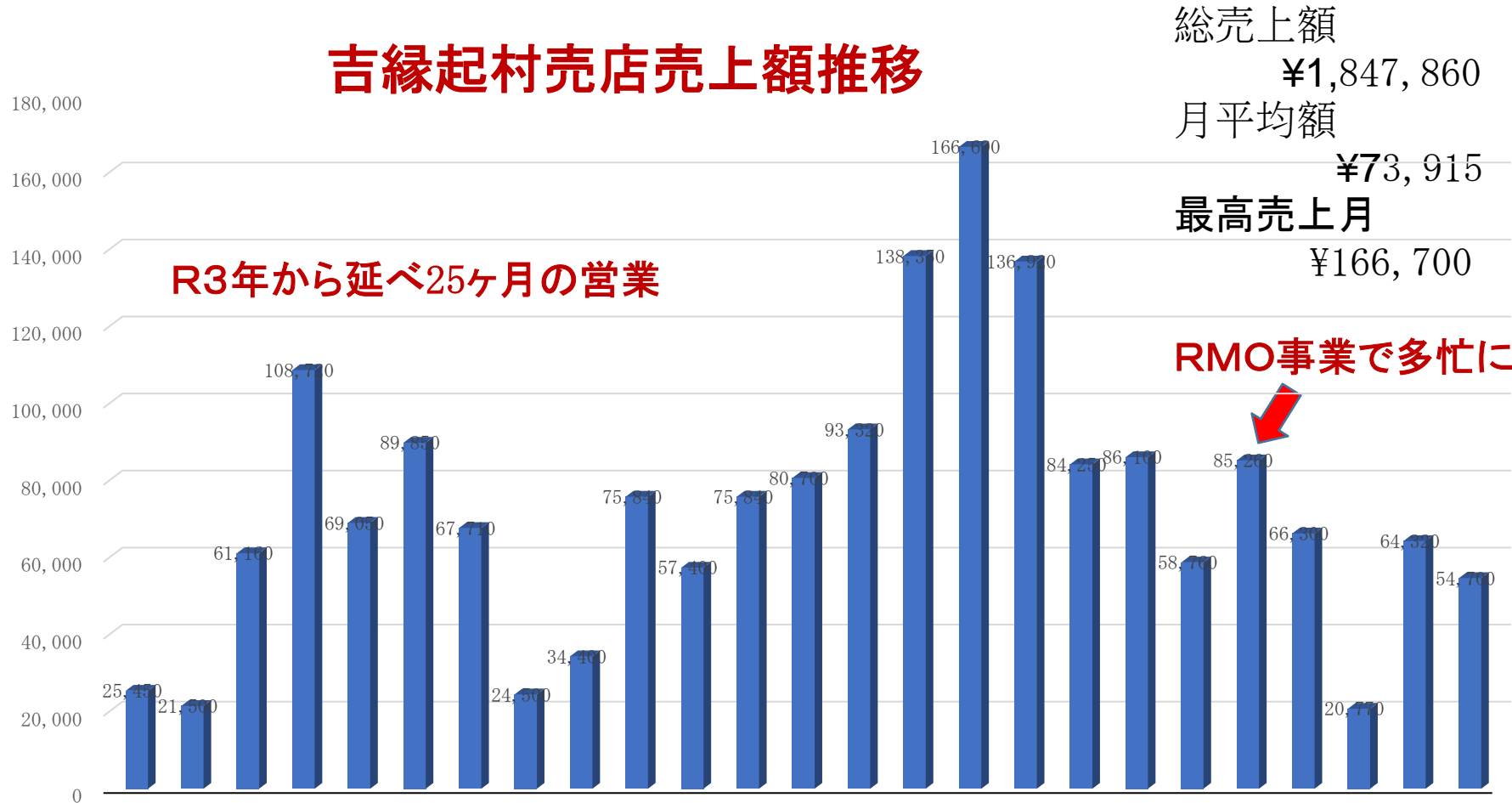
- 4団体で協議会を設立して取り組む
- 事業の継続で安定した活動資金に



令和3年6月食品営業許可取得で、売上げ額増加

吉縁起村売店売上額推移

月別売上げ額



総売上額
¥1,847,860
月平均額
¥73,915
最高売上月
¥166,700

R3年から延べ25ヶ月の営業

RMO事業で多忙に...

軸2021年4月～2023年8月の25ヶ月